

県オリジナル小麦「さぬきの夢2023」奨励品種採用！



香川県では、古くから温暖少雨の気候を生かして良質な小麦が栽培されており、現在は、県オリジナル小麦「さぬきの夢2009」の作付面積が約2,500haまで拡大しています。
「さぬきの夢2009」の後継品種である「さぬきの夢2023」が、**令和6年秋播きから一般栽培を開始するに当たり、「香川県主要農作物奨励品種審査会」（7/24開催）の意見を踏まえ、「さぬきの夢2023」の奨励品種への採用を決定しました。**

1 「さぬきの夢2023」の特性

「さぬきの夢2023」と現奨励品種の「さぬきの夢2009」を比較した特徴

- ・ 出穂期は1日程度遅く、成熟期は同等である。
- ・ 稈長はやや長く、穂長はやや短い～同等、穂数はやや少ない。
- ・ 収量はやや少ないが、容積重及び千粒重が重く、外観品質が優れる。
- ・ 原麦タンパク質含有率が高く、グルテンの質が強い。
- ・ ゆで麺は粘弾性が高く、形状・なめらかさ・味・香りに優れる。

2 今後の「さぬきの夢2023」の栽培

- ・ 令和6年秋播き（令和7年産）・・・一般栽培開始（県内100ha予定）
- ・ 令和7年秋播き（令和8年産）・・・一般栽培拡大（県内900ha予定）
- ・ 令和8年秋播き（令和9年産）・・・県内全面切替（県内2,500ha予定）

(参考)

○奨励品種とは

本県において普及すべき主要農作物（稲、麦、大豆）の優良な品種のこと

○香川県主要農作物奨励品種審査会

優良品種の普及を通じ、主要農作物の品質の向上、生産性の向上による農業経営の安定化を図るため、本県に普及すべき主要農作物の奨励品種の採用・廃止について学識経験者や実需者等から意見を聴取する会